

第6学年国語科学習指導案

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 平成 18年11月 2日 (木) |
| 対 象 | 6年1組 男17名 女14名 計31名 6年2組 男17名 女16名 計33名 |
| 指導者 | 1組 五十嵐 智子 2組 二本柳 大司 |

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
教材名 平和のとりでを築く
自分の考えを発信しよう / インターネットと学習 (光村図書六年(下)「希望」)

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第5学年及び第6学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。」ことである。本教材においては、「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。(イ)」「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。(エ)」が、学年の目標に直結する指導内容である。

同じく「書くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに、効果的に表現しようとする態度を育てる。」ことである。本教材においては、「全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。(イ)」「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組み立ての効果を考えること。(ウ)」「事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。(エ)」が、書くことのために指導事項となる。

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」「インターネット学習」から構成されている。小学校の説明文学習のまとめの意味をもち、文章の要旨を読み取り、筆者の主張をつかむとともに、それについての自分の意見をもつことをねらいとしている。

「平和のとりでを築く」は、原子爆弾によって傷だらけとなった物産陳列館が、多くの人々の平和を願う心によって、世界遺産「原爆ドーム」となった経緯を述べた文章である。日本人としてぜひ知っておきたい史実と、それが世界の遺産となった意味についての筆者の考えを読み取ることで、いかに多くの人々が、現在において「平和」を希求しているかが分かり、続く活動への動機付けにもつながると考える。

「自分の考えを発信しよう」は、「平和」というテーマにかかわる多様な材料を集め、自分の考えをもち、発信していく学習である。さまざまな情報を集め、それに学ぶだけでなく、それをもとに自分なりの考えを深め、その考えを外部に発信することで表現能力を高めることもできると考える。

(2) 児童について

児童はこれまでに、第6学年の「読むこと」の学習において、「カレーライス」(物語)では、叙述に即して読むとともに、登場人物の心情に共感したり反発したりしながら読むことを経験している。「生き物はつながりの中に」(説明文)では、文章の構成や表現から要旨をとらえるとともに、読み取った内容についての自分の考えをもつことを学習した。

これらの学習を通して、段落のまとまりを意識して内容を読み取ろうとしたり、表現に即して要約したりすることができるようになってきた。また、文章構成や語句の使い方、文末などの表現を手がかりに筆者の主張や表現の工夫について考えられる児童も増えている。しかし、個人差は大きく、叙述に即して正しく読み取る力や言葉の意味を正しく理解する力などが不十分な児童もいる。

自力解決の内容を伝え合い、互いに学び合うという活動については、「学級討論会をしよう」(話す・聞く)の学習を生かし、自分の考えをわかりやすく話すことや人の意見と自分の意見を比べながら聞き、互いの意見を深め合うことができるようになってきた。また、筆者の考えに対する自分の考えや感想を書き、交流し合う活動に積極的に取り組める児童も増えている。

(3) 指導について

本単元は、「発信」に重点を置いた情報活用単元の総仕上げに位置づけられているといえる。筆者の考えを正しく読み取りながら、「平和」について児童一人一人が深く考え、自分なりの考えをもてるようにしていきたい。そのために、単元において段階的な【自分の考え 】を書く活動を取り入れていきたい。過去の事実や他国の現状の理解にとどまることなく、「自分たちの未来」について考えが広まっていくよう支援したい。また、さりげない日常の「平和」にも気付いていけるようにしたい。さらに、友達との情報交換や話し合い活動を設定することで、自分の考えを振り返り、考えを深めていけるようにしていきたい。

「平和のとりでを築く」の学習においては、事実と意見とを区別しながら、筆者の考えを丁寧に読み取っていききたい。

一人学びとしては、中心文や重要語句にサイドラインを引きノートに書き込みをする活動や、読み取ったことを年表の形にまとめる活動を取り入れていく。自力解決できない児童や自信のもてない児童のためにペア学習を取り入れ、手がかりとなる文を押さえるようにしたい。

全体での話し合いの場面では、感想を含めできるだけ多くの児童が発言できるようにしていきたい。そのために、読み取った内容についての自分の意見を書く活動を取り入れる。根拠をもって自分の考えを書くことにより、筆者の伝えたいことにも気づいていくことができると考える。あわせて、「戦争」や「平和」に関する本を読書する活動や社会科での学習を通して、教材文を学習していくうえでの知識を補いながら、自分の考えをもたせる助けとしていきたい。

「自分の考えを発信しよう」では、それまでに書いてきた自分の考えや友達との交流の中で気づいたことをまとめ、「平和」についての自分の考えを書いていく。その際に、できるだけ具体的な課題をもつようにさせ、個々に情報を集め、自分なりの考えをまとめていけるようにする。調べる学習では、インターネットの活用が欠かせない。使用上の留意点やルールを明確に提示し、目的意識をしっかりとった上で活用できるように指導していきたい。

3 単元の目標

(1) 主目標

筆者が訴えたいことを読み取り、それについての自分の考えをもつ。

「平和」についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて書いて交流する。

(2) 観点別目標

筆者の訴えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり、話し合ったり、書いたりしようとしている。(関)

自分の考えを明確に表現するために、材料を取捨選択・整理し、効果的な文章の組み立てを考えることができる。(書イウ)

筆者が伝えたいことを読み取り、自分の考えを深めることができる。(読工)

文章にはいろいろな構成があることを知り、適切なものを選ぶことができる。(言オ(ア))

4 単元の指導計画・評価計画(総時数 16時間)

| 主な学習活動 (時数) | 評価規準(方法) | 具体の評価規準及び指導・支援の手立て | |
|---|--|--|---|
| | | おおむね満足できると 判断する視点 | 努力を要する児童への 指導支援の手立て |
| 1 - 単元名・リード 文・題名から学習 の構えをもち、教 科書の単元構成を 知り学習の見通し をもつ。 【「平和について」 の自分の考え】 を書く。(1) | 関 「戦争」や「平和」に ついて、知っていること を書いたり、友達と交流 したりしている。 教科書の単元構成を 把握し、これからの活動 に見通しをもっている。 (挙手・発言・ノート・ 自己評価) | 戦争や平和について、知 っている事実を進んで発 表したり、書いたりしてい る。 学習のゴールをとらえ、 これからの学習に関心を もっている。 | 戦争に関するビデオや 新聞、写真などを提示し、 戦争に対するイメージを 持たせる。 学習計画表を提示し、学 習のゴールをつかませる。 |
| 1 - 新出漢字の練習 と語句の意味調べ をする。 (1) | 言 新出漢字の書き順や 使い方を覚えたり、語句 の意味を調べたりして いる。(ノート・観察・自己評価) | 新出漢字や語句を正し く読み書きしたり、辞典を 使い意味調べをしたりし ている。 | 新出漢字や語句を正し く視写させる。指定した語 句の意味調べをさせる。 |
| 1 - 全文を読み、ま とまりに分けて、 文章の構成をつか む。 (1) | 読・書 文章全体のおおまか な構成をつかみ、平和に ついての自分の考えを 書いている。 (発言・ノート・自己評価) | これまでの説明文の学 習を想起し、照らし合わせ ながら、おおまかな文章の 構成と部分の役割をつか んでいる。 | 接続詞や文末表現に着 目させ、段落のつながりを 確認させる。 |

| | | | |
|--|---|--|--|
| <p>2 - 題名と第1段落から、筆者の思いを読み取り、読みの課題を考える。 (1)</p> | <p>読 題名と第1段落から読みの課題を考えている。 (発言・ノート・自己評価)</p> | <p>題名と第1段落から、筆者の原爆ドームに対する思いを読み取り、読みの課題を自分なりにまとめている。</p> | <p>「原爆ドーム」という言葉や重要語句、リード文に着目させ、問題意識を持つようにさせる。</p> |
| <p>2 - 物産陳列館が原爆ドームとして保存されていく過程と永久保存へと動いた人々の思いを読み取る。 (2)</p> | <p>読 「原爆ドーム」がたどった歴史と、永久保存へと動いた人々の思いを読み取り、まとめている。 (発言・ノート・自己評価)</p> | <p>重要語句から事実や時間の流れをとらえ、被害の大きさや人々の心の動きを想像しながら、原爆ドームがたどった歴史を正確に読み取っている。</p> | <p>時を表す言葉を確認し、それにあてはまる被害の様子や人々の動きや変化に着目させる。</p> |
| <p>2 - 原爆ドームが世界の遺産として認められるまでの道のりとその意義について読み取る。 (1) 1組本時</p> | <p>読 「原爆ドーム」が世界遺産として認められるまでの道のりとその意義について読み取り、まとめている。(発言・ノート・自己評価)</p> | <p>重要語句から事実や時間の流れをとらえ、人々の心の動きを想像しながら、世界遺産として認められるまでの道のりと意義について読み取っている。</p> | <p>時間の経過を表現している言葉を確認し、それにあてはまる人々の動きや変化に着目させる。</p> |
| <p>2 - まとめの段落に着目し、筆者が伝えたいことを読み取る。 (1) 2組本時</p> | <p>読 まとめの段落に着目し、叙述を丁寧に読み取りながら、筆者の伝えたいことを的確によみとっている。 (発言・ノート・自己評価)</p> | <p>筆者の伝えたいことをまとめている。</p> | <p>書き込みした部分に着目させてまとめさせる。</p> |
| <p>2 - 【「平和について」の自分の考え】をまとめる。</p> | <p>読・書 今までの学習を振り返り、平和についての自分の考えをまとめている。</p> | <p>平和についての自分の考えをまとめている。</p> | <p>【「平和について」の自分の考え】を振り返ったり、今まで書いてきた意見カードをまとめたりさせる。</p> |

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>3 - 今までの学習をふまえ、「平和について」考えを深めるための自分の課題をもつ。(1)</p> | <p>関 「平和のとりでを築く」の内容を意識しながら、「平和について」自分の課題をもち、書いたり話したりしようとしている。 (発言・ノート・自己評価)</p> | <p>「平和のとりでを築く」の内容を意識しながら自分の課題につながることを書いたり、話し合ったりしている。</p> | <p>教材文の感想から興味のあることを引き出すとともに、同じような課題をもつ友達の意見を参考にさせる。</p> |
| <p>3 - 自分が伝えたいことに関する情報を集める。 (2)</p> | <p>書 自分の考えに説得力をもたせるために必要な材料を集めている。 (観察・ノート・自己評価)</p> | <p>自分の課題に沿って、インターネットや本、雑誌、新聞などを活用し、必要な材料を集めている。</p> | <p>児童の課題追究に役立つような資料を紹介し、参考にさせる。</p> |
| <p>3 - 集めた材料をもとに自分の考えをまとめ直し、効果的な文章の構成を考える。(1)</p> | <p>書 集めた材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てを考えている。(観察・ノート・自己評価)</p> | <p>集めた材料の中から必要なものを選択し、自分の意見が伝わるように組み立てて書いている。</p> | <p>教科書の構成例を参考にさせながら、事実や考えを区別しながら、各段落を考えさせる。</p> |
| <p>3 - 自分の考えが相手に伝わるように、【「平和について」の自分の考え】を書く。 (2)</p> | <p>書 自分の考えの根拠となる具体的事例と自分の考えを、読み手に分かるように書き分けている。(ノート・自己評価)</p> | <p>表現の工夫を考えながら、根拠を明らかにして自分の考えを書いている。</p> | <p>推敲のポイントを提示する。 友達どうして交流しあい、参考にさせる。</p> |
| <p>3 - 自分の考えを発信し、単元の学習を振り返る。 (1)</p> | <p>関 自分の学習に対して、達成感・満足感を感じたり、学習した意味を見いだしたりしている。 (観察・発言・自己評価)</p> | <p>単元の学習を振り返り、自分の考えの深まりを感じ、感想をもっている。</p> | <p>友達の意見から共感できるものを参考に考えさせる。</p> |

5 本時の指導（1組） 7 / 16時間

（1）目標

原爆ドームが世界の遺産として認められるまでの道のりとその意義について読み取ることができる。

（2）仮説との関連

<手立て1に関わって>

- ・原爆ドームの世界遺産決定に込められた人々の思いを読み取るために、一人学びでは、「筆者が不安を覚えた理由」についてサイドラインを引き、ペア学習で確認し合う。さらに、学び合いでは、世界の国々の立場に立って意見を交流し合い、友達の考えの良さや考え方の違いに気づかせる。

<手立て2に関わって>

- ・「筆者が不安を覚えた理由」について考えを深めるために、世界遺産について確認し、他にどのようなものや場所があるか全体場で話し合う。

（3）展開

| 段階 | 学 習 活 動 主発問 ・ 予想される児童の反応 | 教師の支援（評価） |
|-----------------------|--|---|
| つ か む 5 分 | <p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、原爆ドームは世界遺産に認められたのかを読み取ろう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時までにまとめたことを確認し、本時につなげる。 ・原爆ドームが世界遺産に認められるまでの道のりと意義について読み取っていくことを確認する。 |
| ふ か め る | <p>3 課題解決の見通しをもつ。</p> <p>（1）学習場面を音読する。 を音読する。</p> <p>（2）課題解決のための着眼点を考える。 筆者の考えが書かれている段落はどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ です。 には、何が書かれていますか。 ・世界遺産への道のりです。 ・何年に何があったかです。 ・世界遺産についてです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一度目は、本時の学習場面を確認するために行う。二度目の指名読みは、読みの視点を与え、次の学習活動につなげる。 ・段落の構成を確認する。 ・時間の経過と人々の動きをまとめる。 ・世界遺産とは、どんな制度なのか。他にはどのような場所が登録されているのか。何のために世界遺産に指定するのかを確認する。 |

| | | |
|---|--|--|
| <p>ふ か め る 30 分</p> | <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 一人学びをする。 筆者が「不安を覚えた」理由が書かれている部分にサイドラインを引きましょう。</p> <p>(2) 学び合いをする。</p> <p>原爆ドームの世界遺産決定には、世界の人々のどんな思いが込められているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認める・・・同じことを繰り返さないため 核兵器の恐ろしさを教える建物 ・ 認めない・・・歴史が浅い 戦争を思い出したくない <p>(3) 課題のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>原爆ドームは、市民運動が世界に広がり、人々の平和を求める気持ちの強さから、世界遺産に認められた。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界遺産についての調べ学習をもとに発表しあい、そのすばらしさや歴史の古さに気づかせる。 ・ 世界の国々に認められ、選ばれたものが世界遺産として認められることを確認する。 ・ 友達の考えを聞いて、サイドラインを引き直したり追加したりさせる。 (ペア学習) ・ ペア学習で話し合ったことを発表させる。 ・ 自分の考えの根拠を明らかにすることにより、文と文との関係や語句の意味を理解させる。 ・ 原爆ドームを世界遺産として「認める」か「認めない」かについてそれぞれの立場に立って考え、話し合わせることで不安についてイメージ化させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>おおむね満足できると判断する視点 重要語句から事実や時間の流れをとらえ、人々の心の動きを想像しながら、世界遺産として認められるまでの道のりと意義について読み取っているか。(発言・ノート)</p> </div> <p>【支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間の経過を表現している言葉を確認し、それにあてはまる人々の動きや変化に着目させる。 |
| <p>ま と め る 10 分</p> | <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>(1) まとめを音読をする。</p> <p>(2) 本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>7 次時の学習の見通しをもつ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を振り返るとともに、学習の成果を認め、満足感を味わわせる。 ・ 本時の学習について自己評価する。 ・ 次時は、筆者のまとめについて考えていくことを確認し、意欲付けを図る。 |

(4) 評価規準

【読む能力】

「原爆ドーム」が世界遺産として認められるまでの道のりとその意義を読み取っている。

(5) 板書計画

| | |
|-------------------------|--|
| 平和のとりでを築く | 大牟田 稔 |
| 課題 | なぜ、原爆ドームは世界遺産に認められたのかを 読み取る。 |
| 世界遺産への道のり | 一九九二年 ユネスコの世界遺産条約に加盟(日本) 原爆ドームを世界遺産にしよう。 |
| 一九九六年 世界遺産に指定される | (市民中心の活動) |
| 世界遺産 | ・ 文化遺産 目的 |
| ・ 自然遺産 未来に向けて大切に守っていくため | |
| 筆者の不安 | 原爆ドーム 戦争の被害を強調する |
| 規模が小さい | 歴史が浅い |
| 「世界の国々に認められるのか」 | |
| 世界の国々 | ・ 認める 同じことを繰り返してはいけない 核兵器の恐ろしさを教える建物 |
| ・ 認めない 歴史が浅い・残酷さを強調 | 世界の人々の 平和を求める 気持ち |
| まとめ | 原爆ドームは、市民運動が世界に広がり、人々の平和を求め る気持ちの強さから、世界遺産に認められた。 |

5 本時の指導（2組） 8 / 16時間

（1）目標

まとめの段落に着目し、筆者の伝えたいことを読み取ることができる。

（2）仮説との関連

<手立て1に関わって>

- ・筆者の伝えたいことを読み取るために、一人学びでは、「原爆ドームが警告していること」「原爆ドームの役割」にサイドラインを引き、ペア学習で確認し合う。

<手立て2に関わって>

- ・筆者の伝えたいことについて考えを深めるために、学び合いでは、既習事項や教科書の写真等について、文章と結びつけながら全体の場で話し合う。

（3）展開

| 段階 | 学習活動 主発問 ・予想される児童の反応 | 教師の支援（評価） |
|-----------|---|--|
| つかむ 5分 | <p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">筆者の伝えたいことを読み取ろう。</div> | <p>・前時までにはまとめたことを確認し、本時につなげる。</p> |
| ふかめる | <p>3 課題解決の見通しをもつ。</p> <p>（1）学習場面を音読する。 を音読する。</p> <p>（2）課題解決のための着眼点を考える。 段落の「惨害」「警告」、段落の「とりで」の意味を確かめましょう。 ・痛ましい被害、損害 ・注意すること ・外敵を防ぐための城</p> <p>4 学習課題を解決する。</p> <p>（1）一人学びをする。 原爆ドームが「警告」していることが書かれている部分にサイドラインを引きましょう。 原爆ドームの役割が書かれている部分にサイドラインを引きましょう。</p> <p>（2）学び合いをする。 原爆ドームが「警告」していることは、どのようなことですか。</p> | <p>・一度目は、本時の学習場面を確認するために行く。二度目の指名読みは、読みの視点を与え、次の学習活動につなげる。</p> <p>・重要語句の意味を確認し、これらの言葉を手がかりにしながら内容を読み取っていくことを意識させる。</p> <p>・互いの考えを知り認め合うことができるようにするために、友達の考えを聞いて、サイドラインを引き直したり追加したりする。（ペア学習）</p> <p>・原爆がもたらす「惨害」について、既習事項や写真等からイメージ化を図り、文章と結びつけ</p> |

| | | |
|--|--|---|
| <p>ふ か め る 30 分</p> | <p>原爆ドームの役割はどのようなことですか。</p> <p>(3) 課題のまとめをする。 筆者の伝えたいことはどのようなことなのか、まとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>原爆ドームは、それを見る人の心に、核兵器は不必要であると警告し、平和のとりでを築くための世界の遺産である。</p> </div> | <p>ながら読み取りを深めていく。 ・ユネスコ憲章や現在の世界情勢などについて考えながら、課題に迫らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おおむね満足できると判断する視点 筆者の伝えたいことをまとめているか。 (発言・ノート)</p> </div> <p>【支援】 板書やサイドラインを確認してまとめさせる。</p> |
| <p>ま と め る 10 分</p> | <p>5 学習のまとめをする。 (1) まとめの音読をする。 (2) 本時の学習を振り返り、自己評価する。</p> <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p> | <p>・本時の学習を振り返るとともに、学習の成果を認め、満足感を味わわせる。 ・本時の学習について自己評価する。 ・読み取ったことについての自分の意見を書かせたい。</p> |

(4) 評価規準

【読む能力】

まとめの段落に着目し、筆者の伝えたいことを的確に読み取っている。

(5) 板書計画

原爆ドームは、それを見る人の心に、核兵器は不必要であると警告し、平和のとりでを築くための世界の遺産である。

筆者の伝えたいこと

原爆ドームの役割
見る人の心に平和のとりでを築く

核兵器は不必要

原爆ドームの警告
惨害・人間・都市

筆者の伝えたいことを読み取ろう。

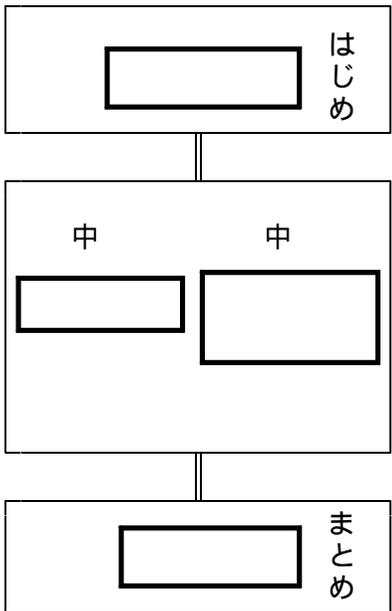
平和のとりでを築く
大牟田 稔

教材分析図

要旨

原子爆弾で破壊された痛ましい姿の原爆ドームは、未来の世界に核兵器は不必要だと世界の人々に警告する記念碑であり、ユネスコ憲章にある「平和のとりで」をそれを見る人の心の中に築くための世界の遺産である。

文章構造図



小見出しおよび形式段落の要点

| | | |
|-----|--------------------------------|---|
| はじめ | <p>広島市にある原爆ドーム。 (話題提示)</p> | <p>広島市にある原爆ドームという建物。</p> |
| 中 | <p>原爆ドームのたどった歴史。</p> | <p>川のほとりに立つ原爆ドーム。 時代の流れを見守ってきた原爆ドーム。 広島市に投下された原子爆弾。 たちまち炎上した原爆ドーム。 戦後間もない広島で続いた議論。 原爆ドーム保存へと固まった意見。 くり返された補強工事。</p> |
| 中 | <p>世界遺産に指定された原爆ドーム。</p> | <p>世界遺産にしようが高まった動き。 文化遺産と自然遺産を守る制度、世界遺産。 平和を求める気持ちの強さを知ったわたし。</p> |
| まとめ | <p>心に平和のとりでを築く原爆ドーム。(結論)</p> | <p>世界の人々に警告する記念碑、原爆ドーム。 心に平和のとりでを築く遺産、原爆ドーム。</p> |